

校内研修計画

甲州市立塩山北小学校

研究主題

「生き生きと学びあい，心豊かに生きる子どもの育成」

～自分の役割をプロデュースする活動を通して～

主題設定の理由

(1) 学校教育目標から

本年度，山梨県金融広報委員会より，「金銭教育研究校」を委嘱された。「金銭教育」とは「ものやお金を大切にすることを通じて，お金や労働の価値を知り，感謝と自立の心を育てることによって，人間形成の土台作りを目指す教育」である。これは，一人の社会人として自立させる教育への取り組みとして，本校のキャリア教育の目標，学校教育目標に合致するものである。

(2) 社会の要請から

キャリア教育が推進される背景には，若者の学校生活から社会生活への移行および社会生活・職業生活への適応に関わる環境が極めて悪化してきたこと，また，学校教育がそのような状況に必ずしも適切に対応できていなかったことがある。「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議」の「報告書」は，キャリア教育を「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し，それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」ととらえ，「児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てる教育」であると定義している。つまり，新規学卒者や若者の就業を取り巻く環境が激変する中で，拡大する「学校と社会」「教育と職業」「知識と労働」との乖離を埋めることが，キャリア教育に期待されていると考える。

(3) 子どもの実態から

本校の子どもたちは，明るく活動的で，けじめ良く，集中して学習するという生活スタイルが根づいてきている。ただ，自ら進んで課題を見つけ実践することは苦手である。状況を分析したり，それに基づいて解決の方法を見出したり，自己決定する力を伸ばしていく必要がある。

多様な関わり合いの中で，子どもたちは，自己の役割を意識し，選択や決断を重ねながら，多様な考え方やふるまい方を学ぶことができる。したがって，本校で既に行われている多様な集団活動を生かし，多様な立場の他者との関係の中で，自分の役割をプロデュースする経験を積ませることで，子どもたちに「一人の社会人として自立し，主体的に生きる力」を育むことができると考える。

(4) これまでの研究の経過から

昨年度は，キャリア教育の推進，学習環境の構造化，整備，授業における言語活動の重視という3つの研究の柱を立て，研究を進めた。具体的には，子どもたちのキャリア発達を促すために，子どもたちが主体的に学ぶことができるように，言語活動を充実させた「学び合う」授業展開を工夫した。また，自然体験学習を金銭教育につなげる授業づくりや道徳を金銭教育とリンクさせた授業づくりに取り組み，さらに取組を通して，学年ごとに「キャリア教育年間指導計画試案」を作成した。学習環境の構造化に関わっては，インデックスの改善や子ども自身が自己評価できるようなポートフォリオ，振り返りカードの作成に取り組んだ。こうした研究の成果を踏まえて本年度の研究を進めていきたい。本年度は，多様な立場の他者との関係の中で，自分の役割をプロデュース

スする経験を積ませることを重視して、「Q - U」(楽しい学校生活を送るためのアンケート)を実施し、指導に活用していきたいと考える。

研究の具体的内容と方法

(1) 具体的内容

キャリア教育の推進。

- ・キャリア教育についての理解を深める。子どもたちの実態より、「身につけさせたい力」や「目指す子ども像」を明らかにして、キャリア教育を推進する。
- ・昨年度作成した「キャリア教育全体計画試案」を学年ごとに実践・修正する。

(2) 研究の方法

- ・低・中・高・特別支援の4部会で、授業づくりと授業改善に取り組む。
- ・11月14日(水)を公開日として、全ての学級で授業を公開する。
- ・「Q - U」を実施し、分析をもとに結果を活用する。

研究の計画

回	月	日	研究内容	備考	指導主 事招聘
1	4	6(金)	昨年度研究について 本年度研究の方向性について		
2		11(水)	本年度校内研究の方向性と計画の概要 研究の組織づくり	全体会	
3	5	2(水)	部会研究の方向・授業内容について	部会	
4		9(水)	「学習環境の構造化」インデックスの作成	全体会	
5		30(水)	「ポートフォリオ」について学習会と作成	全体会	
6	6	27(水)	学習会「Q - Uについて」	全体会	
7	7	11(水)	Q - Uの分析	部会	
8	8		Q - Uの分析・活用法検討 授業案づくり	部会	
9		22(水)	特別支援教育研修会	全体会	
10	9	5(水)	授業案づくり	部会	
11		12(水)	授業案づくり	部会	
12	10	3(水)	授業案づくり	全体会	
13		10(水)	授業案づくり	部会	
14		17(水)	授業案検討	全体会	
15		31(水)	授業案検討	部会	
16	11	7(水)	授業案検討	全体会	
		14(水)	公開研究会・ブロック交流研究会	部会	
17	12	12(水)	公開研究会のまとめ	全体会	
18	1	30(水)	本年度研究のまとめ・来年度へ向けて	全体会	
19	2	20(水)	本年度研究のまとめ・来年度へ向けて	全体会	
20		27(水)	研究紀要作成	全体会	
21	3	6(水)	研究紀要作成	全体会	

